

令和3年度 ニシン漁獲物調査速報(6):厚田地区

1~3月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

3月1日に石狩湾漁協厚田地区に水揚げされたニシンの漁獲物調査を2日に実施しましたので、結果をお知らせします。石狩湾漁協厚田支所の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

3月1日の厚田地区では、「メス」、「オス特大」、「オス大」の3銘柄が水揚げされていました。

2. 銘柄「メス」の結果: 卵巣完熟率は100%

銘柄「メス」の標本77尾すべての卵巣は完熟状態で、中でも4尾は卵巣が若干萎んでおり、すでに産卵中と思われました。平均卵巣重量(最小~最大)は、80.9g(22.1~146.9g)で、平均値、最小値が前回よりも低下しました。尾叉長は28cm台、体重280~329g台の個体が最も多く(図1)、尾叉長・体重とも前回とくらべれば小型にシフトしていました。内臓除去体重に対する卵巣重量の割合(GSI)の平均(最小~最大)は、32.9(7.13~46.9)で前回よりも低下していました(図2)。このことから、産卵が進行中であることがわかれると思います。

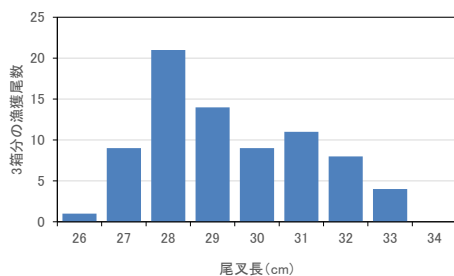


図1 銘柄「メス」の尾叉長組成

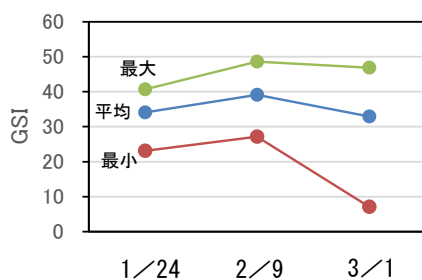


図2 メスのGSIの推移

3. 銘柄「オス特大」の結果

銘柄「オス特大」の標本42尾のうち1尾は未熟のメスでしたが、残りは放精前もしくは放精中の状態でした。「特大」ですので、尾叉長は32cm台、体重330~379g台の大型個体で占められていました。

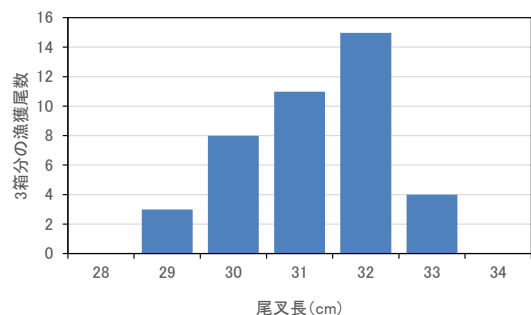


図3 銘柄「オス特大」の尾叉長組成

3. 銘柄「オス大」の結果

銘柄「オス大」の標本55尾中、1尾は産卵後のメスでしたが、残りは放精前もしくは放精中の状態でした。尾叉長は28~30cm台、体重280~329g台が多く、当然ですが「特大」と比べれば小型個体で占められていました。

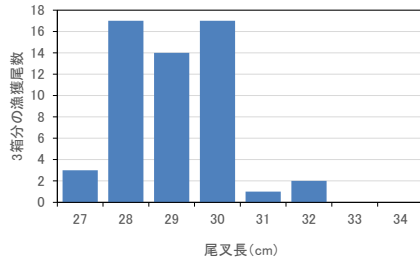


図3 銘柄「オス大」の尾叉長組成

4. 年齢査定結果について (3月16日追記)

銘柄「メス」は、2歳魚(3年魚、2019年級)が34%と多く、ついで4歳魚(5年魚、2017年級)が28%を占めていました(図4)。漁獲物が以前の調査時よりも小型にシフトしていたことから、若い個体の漁獲が以前より増えていました。銘柄「オス特大」は、4歳魚の割合が40%を占め、ついで5歳魚(6年魚、2016年級)が24%、6歳より高齢の個体も26%含まれていました。銘柄「オス大」は、4歳魚が56%を占め、ついで2歳魚が27%含まれており、当然といえば当然ですが、「オス特大」よりも若齢の割合が高くなっていました。

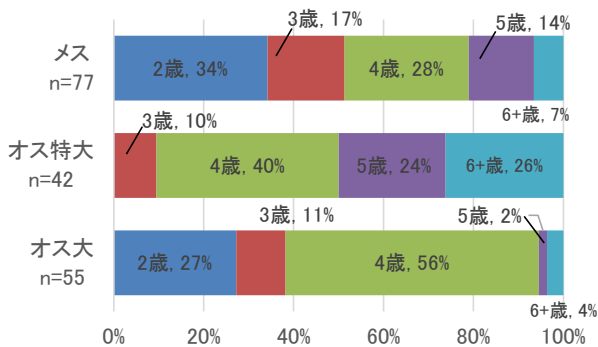


図4 銘柄ごとの年齢組成